

静岡県漁業協同組合連合会  
1074 静岡市追手町 9-18  
15.12.26 ☎ 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

## 1. 平成15年度県漁協組合長会議要望事項、16年度県水産予算編成に対する陳情

県漁協組合長会議実行委員会並びに県水産振興推進協議会では、去る12月2日自民党県連農林水産対策連絡協議会において本年9月に開催した県漁協組合長会議における要望事項並びに16年度県水産予算編成に対する要望事項について陳情しました。

また、12月16日には県議会水産議員に、18日には鈴木県副知事及び栗原県農業水産部長に対し同様に陳情しました。

県漁協組合長会議要望事項は 伊勢湾・三河湾・遠州灘系群トラフグ資源の増大に資する大量種苗放流事業の推進について 沿岸漁場の整備開発事業の推進について 浜名湖の漁場生産力の回復について 漁港周辺空地の有効利用について 漁港等の津波対策について 総合的な沿岸漂着物対策計画とフォローアップ計画の提言を受けて静岡県沿岸域において速やかな対策について 合併、市場統合等漁協基盤強化への積極的な取組みについて の7項目となっています。

また、16年度水産予算編成では 県漁連等水産関係団体が行う指導・委託事業に対する支援について 静岡県漁業振興基金への出捐金の増額について 第56回全国漁港漁場大会開催に係わる補助金確保について の3項目となっています。

## 2. 海上保安庁が海上環境事犯の一斉取締りを実施

海上保安庁は、11月8日から17日までの10日間にわたり全国で実施した「海上環境事犯一斉取締り」で、有害物質や廃船の不法投棄などにより88件(前年69件)の海上環境関係法令の違反を摘発・検挙しました。期間中には巡視船艇延べ1,634隻、航空機85機を出動させ、海上や海岸のパトロールを強化するなど集中的な取締りを行いました。

また、今年も11月1日から7日までを「海洋環境保全推進週間」とし全国46箇所では漁業者や海事関係者、廃棄物処理業者らを対象にした環境保全講習会を開催して、油や有害液体物質等の排出防止、ビルジ等の適正処理などを指導啓発しました。

一斉取締りでの検挙の内訳は 船舶からの油・有害物質の違反排出が22件 廃船の違法投棄が26件 廃棄物の違法投棄が19件 その他21件となりました。

## 3. 「川の通信簿」を初めて本格的実施

国土交通省では、平成15年度全国の一級水系108水系、230河川、669箇所において水質やゴミの有無などの環境を5段階で評価(評価5 = すばらしい、同4 = 相当良い、同3 = 普通、同2 = 悪い、同1 = 相当悪い)した「川の通信簿」を公表しました。

この「川の通信簿」は、市民や市民団体等と河川管理者が現地において全国の河川空間の親しみやすさを、定期的・持続的に市民と共同でアンケート調査を実施し評価することで、その結果から良い点・悪い点を把握し今後の河川整備計画や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全、整備を図ります。また、点検項目の中で現状の状況が「良い」とされたのは豊かな自然、流れている水の量、景色の良さなどの項目で、「悪い」

とされたのは、トイレ、休憩施設や木陰などの項目でした。

本県内では5河川24箇所を実施され、主な箇所での評価は次のとおりです。 評価4：狩野川(修善寺町 = 桜づつみ)、安倍川(静岡市 = 安倍川緑地)、大井川(吉田町 = 清流緑地)、菊川(小笠町 = 青木前芝生広場)、天竜川(豊岡村 = 天竜川ラブリバー公園) 評価3：狩野川(沼津市 = 上土広場)、安倍川(安倍川河口付近)、藁科川(静岡市 = 木枯らしの森)、大井川(大井川町 = 大井川河口付近、島田市 = 蓬萊橋小公園)、菊川(大東町 = 河口砂州、国安遊歩道公園)、天竜川(磐田市 = 親水公園) 評価2：狩野川(沼津市 = 渡し船復活に伴う施設)

## 4. 海・漁業体験活動リーダー育成研修会の開催案内

漁村文化協会はJF全漁連・大日本水産会の後援を受け、「第5回海・漁業体験活動リーダー育成研修会」を来年2月6日から8日まで、第6回を3月7日まで、清水海洋活動センターで夫々2泊3日で開催します。

この事業は、農村文化協会が自然体験活動推進協議会の指導者養成団体として、13年から年に2回開催している研修会で、参加資格は海・漁業などの自然体験活動に関心のある18歳以上の男女で、取得できる資格は海・漁業体験活動リーダー(漁村文化協会公認)及び自然体験活動リーダー(CONE自然体験活動推進協議会公認)の2つとなっています。 = 参加申込 = 参加費：3万円(受講料、教材費、宿泊費、食事代、保険料、登録料が含まれる) 申込締切：第5回 = 1月31日、第6回 = 2月27日 定員：夫々30名 問合せ先： 漁村文化協会 TEL:03-3583-2204

## 5. 水産業の技術革新を目指した新規プロジェクト募集

マリノフォーラム21では、水産庁関係課と連携し漁業団体、企業、県、研究機関、大学等からのプロジェクトニーズ等の掘り起こし事業として、平成17年度新規技術開発の提案募集を次の課題を重点的なテーマとして募集することになりました。

水産資源の回復と持続的利用(例：自然の力を利用した二枚貝等の増殖技術等) 沿岸小規模漁業の生産構造改革(例：沿岸小規模漁業の省エネ、省力化のための技術開発等) 養殖業の新たな発展(例：有機養殖技術、養殖漁場の環境改善技術等) 水産加工・流通の高度化(例：水産物の高鮮度保存技術等) 消費者への安全・安心対策(バイオセンサー等鮮度判定技術等) 環境対策及び資源の有効利用(例：生産阻害生物の駆除・利用技術等)

また、マリノフォーラム21発足以来技術開発を行った件数は、大・小規模併せて90件相当にのぼり、このうち沿岸整備事業への事業化されたものは7件で、製品化・商品化されたものも数多くその効果を上げています。

募集締切：平成16年1月16日 問合せ先： マリノフォーラム21 住所：〒110-0016 東京都台東区台東4-8-7 TEL：03-3837-5212 Eメールアドレス：[azeta@mf21.or.jp](mailto:azeta@mf21.or.jp)

## 6. 諸会議日程(12月30日(火)～1月12日(月))

- 既報分省略 -

1月6日(火) 県漁連 = 平成15年度船舶職員養成講習会開校式 (県立漁業高等学園)

1月7日(水) " = キンメダイ資源管理に関する意見交換会 (下田市漁協)

- お知らせ - 本紙次号発行は、年末・年始につき明年1月9日(金)となります。